

# 結核は過去の病気？ いいえ。「現代」の病気です。

医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と  
思っていたら大間違いです。今でも1日に50人の新しい患者が発生しています。

平成29年中に新たに「結核」と診断・登録された人はどれくらいいるの？

	全国	山口県
新登録患者数 〈新たに結核と診断され登録された患者〉	16,789人	171人
罹患率（人口10万対）	13.3	12.4

減ってきてはいますが、  
今でも静かにしぶとく  
流行っています。  
2020年までに罹患率  
10以下を目指しています。

結核になったらどんな症状がでるの？

- せきが2週間以上続く
- たんがでる
- 急に体重が減る
- 食欲低下
- 微熱が続く
- 胸痛
- 寝汗をかく
- 呼吸困難

なぜ？  
もしかしたら結核  
かも

**2週間以上咳や痰が続くようでしたら、医療機関を受診しましょう。**

早期発見は、本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や職場等への感染拡大を防ぐためにも重要です。

特にお年寄りには体のだるさや微熱が続いたり、急に体重が減ってきたりしたら、せきがなくても結核の可能性があります。心当たりのあるときは早めに医療機関を受診しましょう。

定期的に健康診断を受けましょう。

毎年1回は、健康診断を受けましょう。  
結核だけでなく、他の肺疾患の早期発見につながることがあります。  
65歳以上の人には、「感染症法」により結核検診の受診義務があります。  
市で行われている「肺がん・結核検診」を利用できます。



結核は、注意を正しく知り行動していればそれほど怖がる必要はありません。  
正しく知ることが予防の第一歩です。

山口県周南健康福祉センター 地域保健班 ☎ 0834-33-6425